



平等・開発・平和

ともだち共立

第14号 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

『男女平等・共同参画都市』宣言から5年～夢は大きく～

高岡市男女平等・共同参画課 課長 柴田 善子



高岡市は、平成20年9月25日「認めあい 支えあい 喜びも責任も分かちあう共に輝く ひととまち」を目指して男女平等・共同参画都市を宣言しました。平成24年度からは、男女平等推進プラン後期事業計画、DV対策基本計画に基づき、様々な事業がスタートしています。当課・センターでは、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進、配偶者暴力相談支援センター機能の整備、DV等の防止に関する啓発事業などを重点に取り組んでいるところです。

今年は、都市宣言を制定して5年、またセンターが出来て10年の節目となることから、あらためて男女平等・共同参画の実現した社会が「ひとりひとりの豊かな人生」に通ずるということを講座やイベントなどで、「気づき」「学び」「広める」ことに取り組んでいきたいと考えています。平成25年度には、各地区の推進員の皆さんによるミニ地区懇談会の開催が予定されているとのこと。地域の皆さんに一番近い推進員の皆さんと一緒に「男女平等・共同参画ちゃ 何け?」とか「まあ～だ そんなこと言うとながけ…」と言われている方々にも寸劇や料理教室、ワークショップ等々楽しい企画を通して理解・実践していただけたら…と思っています。そして、平成27年3月の新幹線開業時には、高岡が『男女平等・共同参画先進都市』として、「訪れてみたい、住んでみたい まち」に…。老若男女問わず皆が笑顔で元気に「こんなこといいな、できればいいな(気づき)」、「不思議なポッケでかなえてくれる」(学ぶ)、「はい! ○○○」(広める)と唄い、支えあう姿がいたる所でみられるように。そして、全国の皆さんに向かっては、『男女平等・共同参画先進都市』で 待ってちゃ! たかおか! と!

「男女平等・共同参画宣言都市」高岡

認めあい 支えあい
共に輝く ひととまち
を目指しています。



10月6日 高岡万葉まつり 朗唱の会

推進員有志で参加。男女共同参画をアピールしてきました!

こんな活動もやりました!

1月26日 定例会 親子料理教室

高岡市農業センター アグリピア高岡
講師 副センター長 中村 美代さん

雪の日で足場の悪いなか、推進員とその家族計10名の参加がありました。カラフルな色合いでかわいい絵巻ずしを2種類とすまし汁など計4品です。絵巻ずしはチューリップとバラの絵柄で、色あざやかで食べるのがもったいない感じでした。巻きずしは面倒だなと思っていましたが、ある程度準備していただいていたので、手早く作ることが出来ました。男性は力があるので、巻きずしもしっかり巻けていた気がします。分担を決めて手際よく作業を行い、昼までに完成しました。見た目もさることながら味も大変良く、おいしく頂きました。食べきれない物はおみやげになりました。

皆さんの満足そうな笑顔を見ていると企画してよかったと思いました。

(奥村 みさ子)



編集後記

特集でも書いたように、DV もいじめも体罰も全て暴力で支配する構図です。それも加害者のエゴやわがまま、プライド、面子が招いた結果だと思っています。春から中学生になる娘を持つ父親として、そんな器の小さい男と付き合うようなことがないように願いながら作成しました。お付き合いするなら素敵な男性として欲しいけど、それもさびしく嫌なものです(苦笑)

(高梨 真宏)

広報部員 副会長 高梨 真宏
部長 朴木 行子
山口 義雄
海内 隆行



特集

DVについて考える

今年1月、DVから逃げてきた妻が身を寄せていた友人宅で、夫と3人で離婚について話し合いの後、その友人女性を夫が刺し殺すという痛ましい事件がありました。DVはパートナーだけでなく、子どもをはじめ周囲の人も傷つけています。

先日の新聞に、県の施設へのDV相談件数が平成23年度最多の4016件、24年度はさらに上回る見込みとありました。高岡市だけでも23年度は、1351件だったそうです。DVは他人事、都会のことではないのです。

では、右のマンガはDVだと思いますか？男の子がわがまま？女の子から告白したのなら我慢するべき？付き合うなら当たり前？理解できるようで分かっていないDVについて、私たち推進員がパープルリボンキャンペーンに合わせて昨年秋に学んだことを紹介します。

付合うってどんなこと？ 絵／高梨まりな



11月18日 デートDV防止啓発講座(ウイング・ウイング高岡)

推進員も協力する高岡 DV 被害者自立支援基金/パサバさんが主催。講師はこの講座を県内の各学校で開催している NPO 法人ハッピーウーマンプロジェクトの中林さんと川田さん。生徒さん向けの授業を体験しました。

富山テレビさんが取材にこられ、番組をご覧になった方も多いと思いますが、授業と言ってもロールプレイングなどで興味を持って参加できるような工夫がなされ、また理解しやすい内容となっていました。

暴力は相手を簡単に支配出来る手段なので、無意識のうちに私もしているかも、と思い背筋が寒くなることも…。またDVを防ぐ手段として、素直な自己表現「(アイ)・メッセージ」が大事であると学びました。単に自己表現というワガママ、自己チューの人間と思われるかもしれませんが、相手と自分を思いやる気持ちを持って伝えればそんなことはないでしょう。

DVと聞くと夫婦や恋人同士の問題だと思われがちですが、暴力で相手を支配することと広義で考えれば、今問題になっているイジメや体罰も同じ根幹だと思います。暴力でクラスメートを支配する。暴力で生徒や選手を支配する。非常に勉強になる講座でしたので、皆さんも機会があればぜひ受講をお勧めします。

(高梨 真宏)



9月20日 サンフォルテ出前講座 「DV 防止への理解を深める」

講師 富山県女性財団

DVとは？それは配偶者による殴る蹴るなどの身体的暴力。生活費を渡さない経済的暴力。大声で怒鳴ったり無視したりする精神的暴力。性交の強要など様々です。

また家庭内で起こるため、密室で目に見えないため気付かれにくく、被害者も自分が悪いのだと思い込み、他人に話すことも出来ずにいます。大きな傷になる前に早く気付いて親や友人、相談機関を利用して心を取り戻して欲しいと思います。

(朴木 行子)

10月18日 講演会 「DVについて」

講師 高岡市男女平等推進センター 相談員 長守 信子さん

センターへの相談件数は毎年右肩上がり、今では毎日のように相談があるそうです！DVを受けるとどうなるか？無表情になり、自己肯定力が低くなり、自尊感情が無くなって、子どもために離婚できず、どうしようもないから鬱になって、死にたいとか思うようになる。

毎日、お前はダメな母親だ！お前が悪い！と言われ続けるDVは、給料が安い！もっと稼いで来い！休みはどっか連れて行け！に変えると妻から夫へのDV。そうなると会社も家庭も嫌になり、欠勤や遅刻がちになり家に帰りたくなる。これなら男性にも分かってもらえるでしょうか？

DV夫は全てが当てはまる訳ではないようですが、優しくそう見えて外ズラが良いのが多いみたい。夫婦ケンカとDVの違いは、対等の関係か、支配する・されるの関係かの違いだそうです。夫婦は一緒に人生を歩むのですから、対等でお互いを尊敬しあえる関係が一番ですね。



悩んでいることはひとりで悩まないでご相談ください
ありませんか

DV(夫や恋人からの暴力)
家庭や職場のトラブルや悩み事など
高岡市男女平等推進センター相談室
TEL 0766-20-1811



平成23年度の
主なデータ

相談件数：3,039件(延件数)
主な主訴：①DV 1,351件(44.5%) ②生き方 834件(27.4%)
③夫婦の問題 369件(12.1%)
年齢別：①40代 1,608件(52.9%) ②30代 807件(26.6%)

相談室より

相談室では一人ひとりの気持ちや考え方を尊重し、相談者自身が自分の力を発揮して問題解決に取り組んでいけるようなサポートを行っています。
電話相談や面接の中で相談員とともに問題を整理しながら、今後の見通しをつけていくための知識や情報も提供しています。

民間支援基金パサバは皆様の支えて成り立っています！



DV被害者が、自立の一步を踏み出すための一時支援金を無利子で貸します

DV(ドメスティック・バイオレンス)問題は社会認知もされ、徐々に支援の輪も広がっています。しかし未だ被害の相談件数は増加しており、子どもへの影響も深刻な問題になっています。パサバは、誰もが安心して暮らせる、何事も暴力で解決しない社会を願って活動します。

賛同するみなさんの会費・寄付で運営しています。あなたのサポートをお願いいたします。

(会費・寄付振込先)

ゆうちょ銀行〇七九店(079)当座預金口座番号 0057876

口座名 サポート基金パサバ

問合せ先：080-6358-0838

パサパって？

フランス語で、
「一歩一歩」という意味です。



地域別研修会に参加しました！！

2月16日 射水市大島絵本館

射水市・氷見市・高岡市の推進員による合同の研修会が行われました。

第一部は『男女がともしつくる未来とやま』と題して、富山県における女性の就業環境や家庭環境の現状説明がありました。女性の社会参画が進んできたにも関わらず、家事育児は女性の仕事であるとして、家庭での理解が得られていないため『再就職・キャリアアップ』支援の必要性を訴えていました。また女性の管理職登用も少ない現状を知り、家庭や職場における男女参画の必要性を学びました。

第二部は『しあわせになろうよ』と題する射水商工会議所会頭の牧田和樹さんによる講演で、for me より for you を大切にし、思いやりの心をもって『みんなが幸せになろう』と心に響く言葉を頂きました。

中学生にも同様の講演をされたそうですが、この言葉を子どもたちが大人になっても思い出し、実践できれば、より良い男女共同参画社会の実現につながると思います。

(沢田 哲也)